

## 森泰吉郎記念研究振興基金 報告書

「互換品・海賊版が正規版に与える影響の良好な面について」

慶應義塾大学 政策・メディア研究科  
射場本 健彦 [takehiko@ibamoto.jp](mailto:takehiko@ibamoto.jp)

本研究では、コンテンツ産業分野において互換品・海賊版が正規版に与える影響について調査を行い、良好な影響を与える場合とそうでない場合を区分けすることを目的としたものである。

この研究において、森泰吉郎記念研究振興基金は、調査物品・研究交流のためのトークセッション費用に主に供された。

2008年11月に成果発表として、SFC Open Reserch Forumにて、「二次創作品の存在が原作品に与える影響について」と題し、下記のメンバーでセッションを行った。

鈴木 光司 (作家)

境 真良 (早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 客員准教授)

吉田 博高 (株式会社虎の穴 代表取締役)

北林 謙 (株式会社野村総合研究所 主任コンサルタント)

射場本 健彦 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科)

100人以上の観客を集め、業界の主要人物とのトークセッションを通じて自分の研究の妥当性を確認することができた。



このトークセッションの様子は 森泰吉郎記念研究振興基金の意義を鑑み、ニコニコ動画などを通じて閲覧できるようにした。

研究の成果を世に問う機会を与えてくれた 森泰吉郎記念研究振興基金に深く感謝します。

以上